



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4064 URL <https://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 孝久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画部長 (氏名) 横田 祐一

TEL 03-5462-8224

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,313	1.1	1,069	38.9	1,740	10.0	1,367	20.3
2022年3月期第2四半期	23,059	18.7	1,749	259.3	1,934	239.5	1,136	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 3,750百万円 (81.8%) 2022年3月期第2四半期 2,062百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	145.62	
2022年3月期第2四半期	127.13	127.00

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	66,088	35,482	50.9
2022年3月期	64,546	32,049	47.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 33,623百万円 2022年3月期 30,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		30.00	55.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	0.0	2,000	37.4	2,700	33.4	1,700	11.9	181.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	9,406,826 株	2022年3月期	9,394,029 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	7,139 株	2022年3月期	7,081 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	9,392,414 株	2022年3月期2Q	8,940,452 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 2022年8月5日公表の通期連結業績予想を修正しております。

2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
決算補足説明資料については、2022年11月17日に当社ホームページに掲載を予定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、国や地域による違いはあるものの、総じてコロナ禍による落ち込みから回復を続けておりますが、急速な円安等による資源価格の上昇、世界的なインフレの進行、中国での新型コロナウイルス対策による都市封鎖、ロシアによるウクライナへの侵攻等、世界経済の先行きに不透明感が高まっております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、PC、通信関連向け製品の出荷が市況の悪化により低調に推移しました。一方、東南アジアでの自動二輪車や自動車向け製品の出荷は、世界的な半導体不足による自動車の減産の影響はあるものの、好調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は23,313百万円と前年同期比253百万円(1.1%増)の増収、営業利益は原材料価格の高騰などにより1,069百万円と前年同期比680百万円(38.9%減)の減益、経常利益は1,740百万円と前年同期比194百万円(10.0%減)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失や法人税等の減少により1,367百万円と前年同期比231百万円(20.3%増)の増益となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (電子・機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬・中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、半導体関連向けが好調に推移したものの、医農薬中間体が低調となり、前年同期比減収減益となりました。機能樹脂は、光学関連分野向け粘・接着剤の需要が低調となり、原材料価格の上昇の影響もあり、前年同期比減収減益となりました。電子素材は、カーエレクトロニクス向け、半導体用金型クリーニング材が好調に推移し、前年同期比増収増益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は9,849百万円と前年同期比248百万円(2.5%減)の減収、セグメント利益は1,105百万円と前年同期比332百万円(23.1%減)の減益となりました。

#### (フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどであります。

フィルムは、自動車向けや看板向けなどの国内需要の回復が遅れ、前年同期比減収減益となりました。ステッカーは、コロナ禍からの回復基調に伴い、東南アジアでの自動二輪車や自動車向けが好調に推移し、前年同期比増収増益となりました。再帰反射シートは、円安による売上増の効果はあるものの、欧州でのインフレ、中国での新型コロナウイルス対策及び物流の混乱が長期化した影響によりナンバープレート向けが低調に推移し、前年同期比増収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は8,852百万円と前年同期比900百万円(11.3%増)の増収、セグメント利益は292百万円と前年同期比232百万円(44.4%減)の減益となりました。

## (建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、ビル・住宅用アルミ建材や内装建材用プラスチック押出製品などではありますが、ビル用アルミ建材の売上は堅調であるものの、戸建て住宅用アルミ建材の売上の回復が鈍いことなどもあり、当セグメントの売上高は3,884百万円と前年同期比154百万円(4.1%増)の増収、セグメント利益はアルミ地金価格の上昇による影響などもあり41百万円と前年同期比108百万円(72.7%減)の減益となりました。

## (エンジニアリング)

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備などではありますが、国内向け工事案件の完工が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は1,646百万円と前年同期比435百万円(20.9%減)の減収、セグメント損失は104百万円(前年同期は25百万円のセグメント利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比1,542百万円増加し、66,088百万円となりました。

このうち、流動資産は、原材料価格の上昇による棚卸資産の増加などにより、前期末比510百万円増加し、37,099百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の取得などにより、前期末比1,032百万円増加し、28,989百万円となりました。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比1,890百万円減少し、30,606百万円となりました。

このうち、流動負債は、納税による未払法人税等の減少などにより、前期末比235百万円減少し、18,355百万円となりました。固定負債は、長期借入金の返済などにより、前期末比1,654百万円減少し、12,250百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、前期末比1,516百万円減少し、12,454百万円となりました。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比3,432百万円増加し、35,482百万円となりました。

このうち、株主資本は、剰余金の配当による減少はあったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末比1,103百万円増加し、24,649百万円となりました。その他の包括利益累計額は、円安に伴う為替換算調整勘定の増加などにより、前期末比2,200百万円増加し、8,973百万円となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の47.0%から3.9ポイント上昇し、50.9%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは2,453百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは1,540百万円の支出となり、フリー・キャッシュ・フロー（営業活動と投資活動による各キャッシュ・フローの合計）は912百万円の収入となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは1,887百万円の支出となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末比147百万円増加して10,986百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

売上債権の減少による運転収支の改善などにより、前年同期比645百万円収入が増加しました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、前年同期比715百万円支出が増加しました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の調達を行わなかったことなどにより、1,887百万円の支出（前年同期は2,724百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおける事業環境は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や急速な円安等による資源価格の上昇に加え、世界的なインフレの進行などにより予断を許さない状況が続くと想定されます。

このような状況を踏まえ、2022年8月5日に公表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり修正しております。

2023年3月期 通期連結業績予想数値（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2022年8月5日発表)	48,500	2,800	3,400	2,000	213円06銭
今回修正予想(B)	47,000	2,000	2,700	1,700	181円00銭
増減額(B-A)	△1,500	△800	△700	△300	—
増減率(%)	△3.1	△28.6	△20.6	△15.0	—
前期実績 (2022年3月期)	47,003	3,192	4,055	1,930	211円49銭

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,376	11,723
受取手形、売掛金及び契約資産	14,773	13,583
商品及び製品	4,341	5,148
仕掛品	1,743	2,099
原材料及び貯蔵品	3,088	3,607
その他	1,337	1,048
貸倒引当金	△72	△111
流動資産合計	36,588	37,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,919	6,669
機械装置及び運搬具（純額）	3,734	4,125
土地	11,414	11,527
その他（純額）	2,751	3,528
有形固定資産合計	24,820	25,850
無形固定資産	776	778
投資その他の資産		
その他	2,429	2,430
貸倒引当金	△69	△69
投資その他の資産合計	2,360	2,360
固定資産合計	27,957	28,989
資産合計	64,546	66,088

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,464	7,382
短期借入金	6,871	7,131
未払法人税等	584	311
賞与引当金	585	636
役員賞与引当金	35	14
その他	3,048	2,878
流動負債合計	18,591	18,355
固定負債		
長期借入金	7,098	5,322
退職給付に係る負債	3,634	3,775
役員退職慰労引当金	35	28
再評価に係る繰延税金負債	2,636	2,636
その他	500	487
固定負債合計	13,905	12,250
負債合計	32,496	30,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,780	7,789
資本剰余金	3,150	3,159
利益剰余金	12,627	13,713
自己株式	△12	△12
株主資本合計	23,546	24,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	268
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	5,856	5,856
為替換算調整勘定	828	3,051
退職給付に係る調整累計額	△215	△202
その他の包括利益累計額合計	6,772	8,973
非支配株主持分	1,731	1,859
純資産合計	32,049	35,482
負債純資産合計	64,546	66,088



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	23,059	23,313
売上原価	15,829	16,482
売上総利益	7,230	6,830
販売費及び一般管理費	5,481	5,761
営業利益	1,749	1,069
営業外収益		
受取利息	51	60
受取配当金	31	34
為替差益	115	532
その他	165	173
営業外収益合計	364	801
営業外費用		
支払利息	62	48
売電費用	33	34
その他	82	47
営業外費用合計	179	130
経常利益	1,934	1,740
特別損失		
固定資産除却損	-	19
投資有価証券売却損	24	-
投資有価証券評価損	-	61
減損損失	260	-
特別損失合計	285	80
税金等調整前四半期純利益	1,648	1,659
法人税、住民税及び事業税	424	325
法人税等調整額	1	△88
法人税等合計	426	237
四半期純利益	1,221	1,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	85	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,136	1,367

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,221	1,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△15
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	841	2,329
退職給付に係る調整額	11	14
その他の包括利益合計	840	2,328
四半期包括利益	2,062	3,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,961	3,568
非支配株主に係る四半期包括利益	101	181

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,648	1,659
減価償却費	1,005	1,013
減損損失	260	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	43	53
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△18	△6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	44
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	△21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	31
受取利息及び受取配当金	△83	△95
支払利息	62	48
固定資産除却損	—	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	24	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	61
売上債権の増減額 (△は増加)	△249	1,728
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△358	△911
仕入債務の増減額 (△は減少)	604	△485
その他	△823	△135
小計	2,144	3,004
利息及び配当金の受取額	99	122
利息の支払額	△62	△47
法人税等の支払額	△373	△625
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,807	2,453
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△307	△481
定期預金の払戻による収入	517	385
有形固定資産の取得による支出	△1,072	△1,447
有形固定資産の売却による収入	2	12
投資有価証券等の取得による支出	△2	△0
投資有価証券等の売却による収入	63	—
その他	△26	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△825	△1,540
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	558	719
長期借入れによる収入	3,900	—
長期借入金の返済による支出	△1,771	△2,235
配当金の支払額	△351	△281
新株予約権の行使による株式の発行による収入	477	—
その他	△89	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,724	△1,887
現金及び現金同等物に係る換算差額	392	1,122
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,099	147
現金及び現金同等物の期首残高	12,402	10,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,501	10,986

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用しております。この適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,097	7,952	3,721	1,289	23,059	—	23,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	9	793	805	△805	—
計	10,098	7,952	3,730	2,082	23,865	△805	23,059
セグメント利益	1,438	525	150	25	2,139	△389	1,749

(注) 1 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子・機能 製品	フィルム・ シート製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,824	8,851	3,881	755	23,313	—	23,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	0	2	891	920	△920	—
計	9,849	8,852	3,884	1,646	24,233	△920	23,313
セグメント利益又は 損失(△)	1,105	292	41	△104	1,332	△263	1,069

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。